

美しく厳しい大雪山のふところに、
カムイ〜神〜を見出し共に生きた“上川アイヌ”。
彼らは激流^{ほとばし}する奇岩の渓谷に魔神と英雄神の戦いの伝説を残し、
神々への祈りの場として崇めた上川アイヌの聖地には、
クマ^ふ笹で葺かれた家などによりコタンを形成し祈りを捧げ続ける。
上川アイヌは「川は山へ^{さかのぼ}遡る生き物」と考え、
最上流の大雪山を最も神々の国に近く、
自然の恵みをもたらす、カムイミントラ〜神々の遊ぶ庭〜として崇拝してきた。
神々と共に生き、伝承してきた上川アイヌの文化は、この大地に今も息づいている。

◆カムイと共に生きる〜上川アイヌ



アイヌ古式舞踊

アイヌの人々は儀礼を通し神との間に良い関係を築いてきた。その儀礼の際には必ず歌(ウポボ)や踊り(リムセ)が神々に捧げられた。

◆上川アイヌの聖地“チノミシリ”嵐山



チノミシリカムイノミ

1年の無事に感謝し、コタンの平和や幸福を願う儀式。火の神・家の神・自然の神に祈りを捧げる。現在、嵐山ではかつての上川アイヌの人々の営みを体験することができる。

◆カムイと共に生きる人々の営み



もくちよう
木彫技術

和人が流入したことにより急激な生活様式の変化に直面した上川アイヌが新たな生業として始めたもの。

▲現代では和人にもその伝統技術が伝承され、熊以外にもさまざまなものがモチーフにされている。

◆カムイミントラに息づくもの



大雪山に息づく植物

上川アイヌの人々と密接な関係にあった大雪山の山々には今なお希少な花々や木々が残っている。



コマクサ

高山植物の女王とも呼ばれる。地上部は小さく花も可憐だが、寒さや強風に大きな耐性を持つ。



チングルマ

高山に広がる低木で春には白い花の、秋には真っ赤な紅葉の絨毯を一面に敷き詰める。



大雪山に息づく動物

豊かな自然を残す大雪山の山々には希少な生物も生息し、さながら楽園の名に相応しい景色となる。



ウスバキチョウ

原始的なアゲハチョウの仲間として知られ、大雪山の中でも標高1,700m以上の高山にしか生息しない。



アサヒヒョウモン

その名は大雪山の最高峰旭岳にちなむ。日本では大雪山にしか生息しない希少種。

日本遺産
って何?



日本遺産とは「地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」です。

世界遺産などは登録・指定される文化財に価値を認めることで保護することを目的としています。一方、日本遺産は「すでにそこにあるもの」に価値を見出すことが目的です。

これまで点と点だった文化や風習が土地や伝説と結びつき、一つのストーリーを作り出すとき、そこには新たな価値が生まれます。

日本遺産には一つの市町村単位で完結するものも数多くありますが、今回、「カムイと共に生きる上川アイヌ」として認定されたのはシリアル型といい、複数の地域に跨って多くの土地や文化、たくさんの人々が関わるタイプのものです。

日本遺産認定を機に、これから周辺町村を交えて数多くの交流が成されることでしょう。それらはこの土地にまた新たに価値ある歴史を刻むはずで。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平成30情使 第72-GISMAP40722号)

お問い合わせ

上川町役場

〒078-1753

上川郡上川町南町180番地

TEL:01658-2-1211(代表)



カムイと共に生きる上川アイヌ

大雪山のふところに伝承される神々の世界

日本遺産



Japan
Heritage

認定

認定自治体
推進協議会

上川町/旭川市/富良野市/愛別町/上士幌町/上富良野町/鹿追町/士幌町/新得町/当麻町/東川町/比布町
大雪山麓上川アイヌ日本遺産推進協議会